

三木亮治活動日誌



1月6日：正心館本部道場 道場開き 気合いのこもった稽古でした。



1月18日～20日：議会運営委員会熊本市・北九州市出張 熊本市議会で研修中。



1月26日～28日：会派有志で熊本市・広島市出張 JR 横川駅前市電駆を視察。



3月28日：曹源寺日本庭園にてコンベンションレセプション参加。



3月30日：瀬戸内国際芸術祭視察。直島・豊島会場を視察しました。



5月7日：三木亮治市政報告会 岡山プラザホテルで開催。皆様に感謝します。



5月25日～27日：自民党市議団 新潟市長野市・金沢市出張。写真は新潟駅です。



7月26～28日：経済委員会 札幌市・旭川市出張。写真は札幌駅観光案内所です。



8月1日～3日：大都市調査特別委員会で札幌市・川崎市・浜松市出張。



11月19日：川崎医科大学総合医療センター開式式。



12月26日：関公園防火水槽埋設工事の完了検査に立ち会いました。



12月26日：中区役所開所式。念願の中区役所が新築開所しました。

| その他の公務等 多数 | 議会運営委員会 | 決算特別委員会 | 特別委員会 | 経済委員会 | 二十八年議会報告 | | | | | | | | | | | |
|---------------|---------|---------|-------|-------|----------|-------|-------|---------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|---------|
| | | | | | 十一月 | 十月 | 九月 | 八月 | 七月 | 六月 | 五月 | 四月 | 三月 | 二月 | 一月 | |
| 回 | 回 | 回 | 回 | 回 | 28日 | 4日 | 1日 | 23日 | 2日 | 24日 | 1日 | 26日 | 10日 | 25日 | 18日 | 2月定例市議会 |
| 回 | 回 | 回 | 回 | 回 | 3日 | 5日 | 2日 | 27日 | 3日 | 30日 | 28日 | 29日 | 27日 | 28日 | 15日 | 会派有志出張 |
| 回 | 回 | 回 | 回 | 回 | 12月 | 15日 | 1月15日 | 会派有志出張 | 1月15日 | 会派有志出張 | 1月22日 | 2月22日 | 2月22日 | 2月22日 | 2月22日 | 会派有志出張 |
| 回 | 回 | 回 | 回 | 回 | 1月23日 | 1月23日 | 1月23日 | 岡山県知事選挙 | 1月23日 | 1月23日 | 1月23日 | 1月23日 | 1月23日 | 1月23日 | 1月23日 | 会派有志出張 |



2017

No.22

発行者 三木 亮治
住所 岡山市中区藤原西町
1-2-5-1

安全・安心の街「岡山市」

平成7年1月17日の阪神淡路大震災後、春の統一地方選挙で初当選し、六期連続当選、22年にわたり市議会議員として歩んでまいりました。その間、平成23年3月11日の東日本大震災、昨年の4月14日には熊本・大分で巨大地震が発生し、また、毎年のように大雨による大水害がいたるところで発生してきました。一方、岡山市は地理的に恵まれ、地震や大雨による災害は他都市と比較すると軽微なものとなっており、100km以内には原発もなく、その安全性と住みやすさが話題となり、特に東日本大震災以降、多くの世帯が他都市から移住してこられています。

岡山市は災害が少なく温暖で住みやすい街ですが、30年以内に南海トラフによる巨大地震と津波が予想されており、充分な準備が必要あります。行政は勿論市民自身がどのように対処するのか準備と訓練を積み重ねるべきだと思います。

今、災害発生時に向けての日帰り防災キャンプが行われ、子ども達の安全のためにボランティアによる見守りが全市的に行われております。これからも安全で安心、住み続けたい、住んでみたいという街を目指して行きたいと思います。

岡山市の中心課題

産業の振興

岡山市は中四国の連携軸の中心に位置し、災害が少なく温暖な気候と広大な平野を有しております、産業振興の大きな可能性を持っています。

しかし、可能性が有りながらもそれらを活かしきってはおりません。大切な事は未来へのビジョンと具体的な戦略・戦術を明らかにし、目標に向けた行程を着実に実行することです。

産・官・学の連携強化、観光産業振興のための拠点整備、地元企業の育成、支社・支店の誘致。土地利用等の規制緩和により中心市街地の再開発や、工業団地・物流基地の誘致を推進する事が重要であります。

岡山市では前期中期計画をこの2月議会で上程し議会に諮ります。私たち自民党市議団はこの計画にこれらのがしっかりと盛り込まれ、施行されるよう、当局とスクラムを組んで全力で取り組んでまいります。

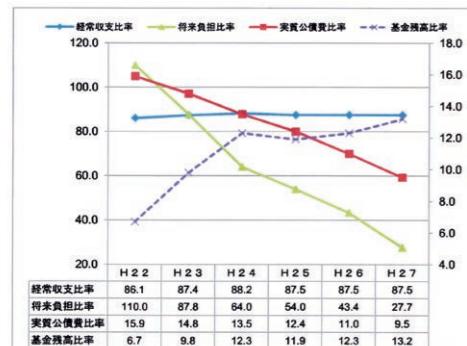
教育の再生

教育県岡山の復活は、伊原木岡山県知事の最大の公約であり、岡山市にとって最も重要な課題となっています。この数年間の努力の結果、全国学力・学習状況調査の全国順位は平成26年の調査では小28位、中41位とな、暴力行為発生率（千人あたり）平成23年の8.6件が26年では5.2件、また、10才～19才の少年非行率（千人あたり）平成24年10.7人が26年8.8人、その他の指標も向上しています。しかし、教育県復活までの道のりは依然として厳しい状況です。

私は生徒指導の強化、部活動の強化、教員教育の為、大幅に教員を増員すべきと思います。（少人数学級ではありません）

また、家庭環境による教育格差が大きな問題であり、その原因は間違った戦後教育にあります。日本語・倫理道徳等の教育に重点を置き、生徒に向き合う教員の姿勢、教育委員会の考え方についても大きな改革が必要であります。

岡山市の財政と予算



財政の状況

岡山市では積極的な行財政改革を推し進めた結果、平成18年度をピークとして債務残高は約1000億円縮減され、経常収支比率・実質公債費比率等も改善し、基金残高も約300億円となりました。しかし、今後の税収等の一般財源の動向は先行きが不透明であり、少子高齢化の進展による社会保障関係費の増加や市有施設の耐震化及び老朽化施設の改修・更新等にも多額の経費が必要となることが見込まれており、このような状況に適切に対応する必要があります。

29年度予算

第六次総合計画長期構想に掲げる都市づくりの基本目標及び3つの将来都市像の実現に向け、岡山市の都市づくりを総合的・計画的に進めていくための具体的な方向性を示す前期中期計画に沿って、岡山市固有の強みや特性を最大限にいかしながら「子ども・子育て」

「教育」「地域の振興」「産業・観光」等における現状の課題に全力で取り組む事で、未来の岡山市を担う人材を育み、豊かで活力ある地域づくりにつながる施策に重点を置いて編成しています。

| 区分 | 平成29年度 当初予算(案) | 平成28年度 当初予算 | 増減額 | 対前年度比 |
|------|-------------------|----------------|--------|-------|
| 一般会計 | 314,386 | 284,324 | 30,062 | 10.6% |
| 特別会計 | 192,865 | 193,591 | △726 | △0.4% |
| 事業会計 | 73,524 | 71,769 | 1,755 | 2.4% |
| 合計 | 580,775 | 549,684 | 31,091 | 5.7% |



今年度の主な事業

子ども医療費助成制度

子ども医療費の外来助成について、対象年齢を就学前から小学校6年生までに拡大し、4月から外来診療自己負担割合を1割に軽減しました。

幼保一体化事業

「岡山市の就学前教育・保育の在り方について」を基本方針として、幼保一体化の推進・施設配置の最適化及び未入園児童の縮減を図ります。

東山斎場整備事業

老朽化・未耐震で待合室が狭くバリアフリーにも対応できていない事から、平成30年度供用開始を目指して現地での建て替え整備を行っています。

県費教職員給与負担

29年度から教員の任免権に加え、教職員定数・配置等の権限、給与等の負担を県から指定都市に移譲し、包括的な制度運営を実施します。

ホストタウン事業

2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に伴い、ブルガリア共和国を相手としたホストタウンとして事前キャンプ等を誘致します。

岡山西部総合公園整備

岡山操車場跡地の「総合公園区域」について市民が集い楽しむ総合公園として、また、災害時には防災拠点となる防災公園として整備します。

高島小学校校舎増築事業

児童数が急増し、プレハブ教室で対応していた高島小学校、今後も児童数の増加が予想されるため校舎を増築し、教育環境の改善を図ります。

操山地区公民館整備事業

唯一地区公民館が未整備の操山地区の状況を解消するとともに、老朽化している教育相談室・適応指導教室建て替える為複合化し整備します。

中四国のナンバーワン都市を目指して

政令指定都市移行から8年目を迎えた岡山市、中四国のナンバーワン都市を目指し、少子高齢化・人口減少社会の波を克服し、未来への発展を成し遂げるため、より中長期的な視野にたった戦略が必要あります。そこで以下の事について述べさせていただきます。

医療・福祉産業の充実



操車場跡地整備区域内西側3haに「健康・医療・福祉系施設」を定期借地方式により民間施設を誘致し、民間活力を利用して健康・医療の充実や賑わいの創出を図るべく、昨年7月に参加企業を募集し審査が行われています。

岡山大学医学部・歯学部、川崎医科大学グループがあり、市内の総合病院が新築され医療体制は更に充実しました。

岡山は産・官・学の連携強化によりこれらを強みとした産業構造の拡大・構築こそが、未来の岡山の産業を牽引するものであります。操車場跡地における民間施設の誘致が岡山の未来に大きく貢献出来ることに期待しています。

子育て環境の充実



妊娠から出産・産後の検診や相談、祝い金や支援金も大切ですが、共働き世帯や母子世帯が増加し、行政の役割、企業の役割、地域の役割、保育・教育の役割・サービスの充実が重要です。特に保育園・放課後児童クラブ等への希望者は増加しており、希望する全ての世帯の期待に応える事が重要です。岡山市においても保育園や放課後児童クラブの待機児童の解消は急務であります。また、貧困家庭も拡大傾向にあり、就学援助の項目・費用の充実も重要であり、家庭環境等の違いはあれど格差のない子育て環境の整備は急務だと思います。

スポーツ施設の充実



スポーツの振興の為には、競技施設の充実、競技力の向上が欠かせません。岡山県では戦後2回の国体を開催し、それぞれ天皇杯・皇后杯を獲得しましたが、この岡山市内中心部の施設は完全に不足しています。特に全国レベルの大会の開催には主催団体が頭を悩ませております。甲子園予選は岡山球場では規格不足と老朽化の為行われていません。岡山武道館も同じであり、大きな大会が出来ません。弓道も大きな大会は井原市か玉野市で行われています。

スポーツの振興は都市力を示すもの、政令指定都市にふさわしい施設整備を目指します。

市政報告会開催のご案内

日時：平成29年4月15日(土) 18時半より
場所：岡山プラザホテル

※詳細は三木迄 090-3742-5076

何でもご相談下さい！
お待ちしています！

事務所住所

703-8244

岡山市中区藤原西町1-2-5-1

電話 271-0016 Fax273-3214